

別院しらべ隊



修復現場にて事件発生！

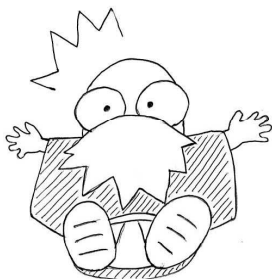
6月27日午後2時過ぎだったと思います。私は郵便ポストに封書を出し、別院に帰るところでした。

玄関近くにさしかかった時、私の後方で「めりめり…みし…がらがらごろ…」と不思議な音がしました。本堂等改修中ですのでトラックから材木を降ろした音だろうと、その時は気にしませんでした。

しかし、午後4時を過ぎた時、再び同じような音が聞こえ、外を気にしていると、さらに激しい「バキッ…バキバキッ……ド〜ン!!」と雷が落ちたような音がしたのです。

音のする方へ確認しに行くと、巨木が折れていました。幸い、近くで作業している人は居らず、怪我人はいませんでした。

午後5時過ぎより始まった撤去作業は1時間半で終わり、翌28日処理場へ搬送されました。



巨木墮つ!!

別院の本堂前の巨木が倒れました。その樹はご覧のように中は空洞で一部の皮のみで栄養を引き上げ、新たないのちを生み出していたようです。

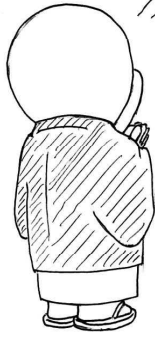


私たちにしてみれば突然の出来事で、あっけない終わりのようですが、旭川別院建立以前より今日まで、よく本堂を荘厳してくださいました。生き抜いて、ギリギリのところまで生き抜いて、力尽きたのでしょう。

実際目の当たりにしたとき、そのすがたに、敬服の念がこみ上げてまいりました。



「この樹に対して一言お願いします」



♪ 如来大悲の恩徳は
身を粉にし〜ても報ずべし
師主知識の恩徳も
ほねをくだきても謝すべし

*気仙宮大工・坂本氏のコメント

「樹齡300年ぐらいかな？」

*枝を払っていた大工さんのコメント

「よく頑張って生きてくれたなあ〜」

2011年7月1日作成

調査員：草部・垣原・横井よ・長尾・高橋